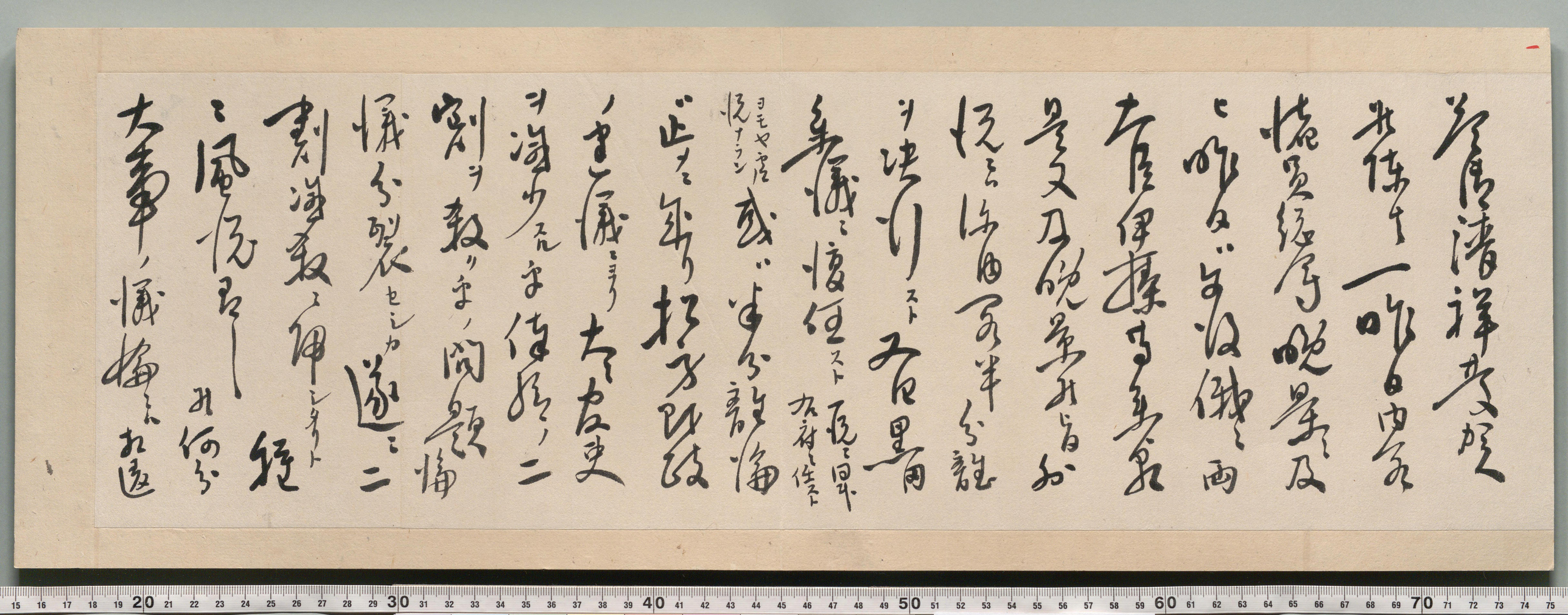
故柳原前光伯書翰

尾崎三良
憲政
111
2

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2



国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

六月十日

三吉

青堂

尾崎先生

風和平國ニ自
然ニ生ジ来リ其
意ハ世界平和ニ
基キ平等ニ及ボシ
相愛ス自然
人類ニ安境
ヲ與ヘ
ル
ナリ

布告文ニ於テ元院議
定ヲ経タ旨ヲ掲ケタル
ヲ賜ハリ感謝ス

元老院ニ諮問ス書

トシテ元老院ヲ経上奏ス

ルヲ以テ法律トシ政規ト

区域ヲ定ム

元老院ハ元来審議ノ

法ヲ以テ

議案ハ地方官ヨリ

ノ例ニ倣ヒ欽定元老院

審議ヲ経テ

方今法制尚ホ整理セ

地方官ト府県庁ト訴訟

且行政裁判ヲ元老院

ニ属シテハ如何ト

考ヘ

奮ヒ検査院ヲ

テ上下両院ヲ毎員ヲ出

シ組織シ例ニ依リ

元老院議員ヲモ毎員ヲ

出シ彼院ニ参同シ

ル法案ヲ

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

法制局ニ諮詢シ以テ
案ニ準拠シ事件ノ
裁判官ヲ列スルヲ以テ現在
ノ法典略ニ準據
スヘキハ勿論
人民ノ訴訟ヲ議院ニ委
附スルノ法ニ
ハ法制ノ如ク裁判
ニ近キ性質ナリ但裁
判官ハ如何ナル
ニ
ハ法制局ニ諮詢
シ以テ裁判官ヲ
利ヲ以テ
制ヲ以テ
ハ法制局ノ
主務省大臣ノ指令ニ服
セサル者ヲ裁判スルハ政憲権
衡上無益ナラスト
公平ニ
法律ヲ設定スルハ
議院
ニ属シ例ヲ
法ヲ立ル者ニ

上ニ有シ方ハ方省ニ
属シ居リ此ニ方省ニ属シ
時ニ單ニ小政ノ便ニ
ナリ辭シ
非ス解ナレトモ元老院
ニシテ属シ且ツ法四ノ法律ノ
別是ニ於テ此時ニ立法府ニ
尚ホ議ノ定ルトモ
是又仏国ノ例ニ
ナリ

元老院議員ニ任セラレタル者ハ
犯罪ノ代限長病等ノ除
クノ外自己ノ情願アルニ非シ
ハ年百ニ孫ミ
トナルヿナシ
但本人ノ罪悪ニ
若クハ無友ニ
依リ
仏国ノ例ナリ
宋仏ニ

邦ニ於テ良策会シ難キ所
慶ニ不日已ニ現制ヲ
改革セシ
以来朝廷ノ保護シ
給ヒ皇室貴族ヲ
取扱ヒ之ニ対スル
義務ヲ
明治十九年
二月廿五日
尾崎三良殿

三

皆原法律ヲ
以テ皇室典
毎年国庫ヨリ
男爵ヲ授ケ但皇族
女子ノ場合ハ左
内親王女王ノ降嫁
ニ有ル者其夫

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

今限ハ皇族
限ニ在ラス
右ノ文意ハ本年報
ノ例ト相反シ且本
年第六号第一女使
書集ニ載セシ云ノ例也
抵ハ伊ノ如キ有ル
皇室典則ハ皇室
ニ対スル時ハ其夫ノ限
ニ抵ハサル旨ヲ明ス
皇室ハ何ノ為ニ皇室ト
唱ヘ皇位ハ男女王ノ区別
有ル所以ナリ
但今後ノ新制ニ於テ
皇玄孫ノ子ヲ王女王
ト称スル時ハ女王ハ如何ナル
ヤ疑ヒ有リ
明治廿年
四月十日
尾崎三良 謹記

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

四

異論
度実事務ヲ以テ所置
申越候旨ヲ以
一黒田大隈井ニ板垣ヲ樺太
就任致ニ相成ス
一左之通被仰付
拓殖局
内務ー　山野
（西村）芳川（丙）次官前島
外務ー　榎本
農商務ー　（芳川）小川（丙）次官渡辺洪基
文部ー　吉本吉田（内）
遞信ー　野村
大学校長　九鬼
内閣書記官長　末松謙澄
長官努力致シ度ト
存ス

明治廿二年
十廿五

四寅

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

[illegible]

[illegible]

[illegible]

高安変賀ス明日京都
人ヲ報筆致ス取敢
ヘズ内閣内ニ
係シ十時ニ出発ス
既ニ一昨年ニテ明日取
高ハ有ル成レ内ニ会納
ス可キ

明治廿三年
四月廿四日

光

四寅先生

尾崎三良殿 御侍史 柳原前光

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

一　其後度々書代を以て申入候通り、昨十月廿三日和議調印相成、
[illegible]
新政府より[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

三

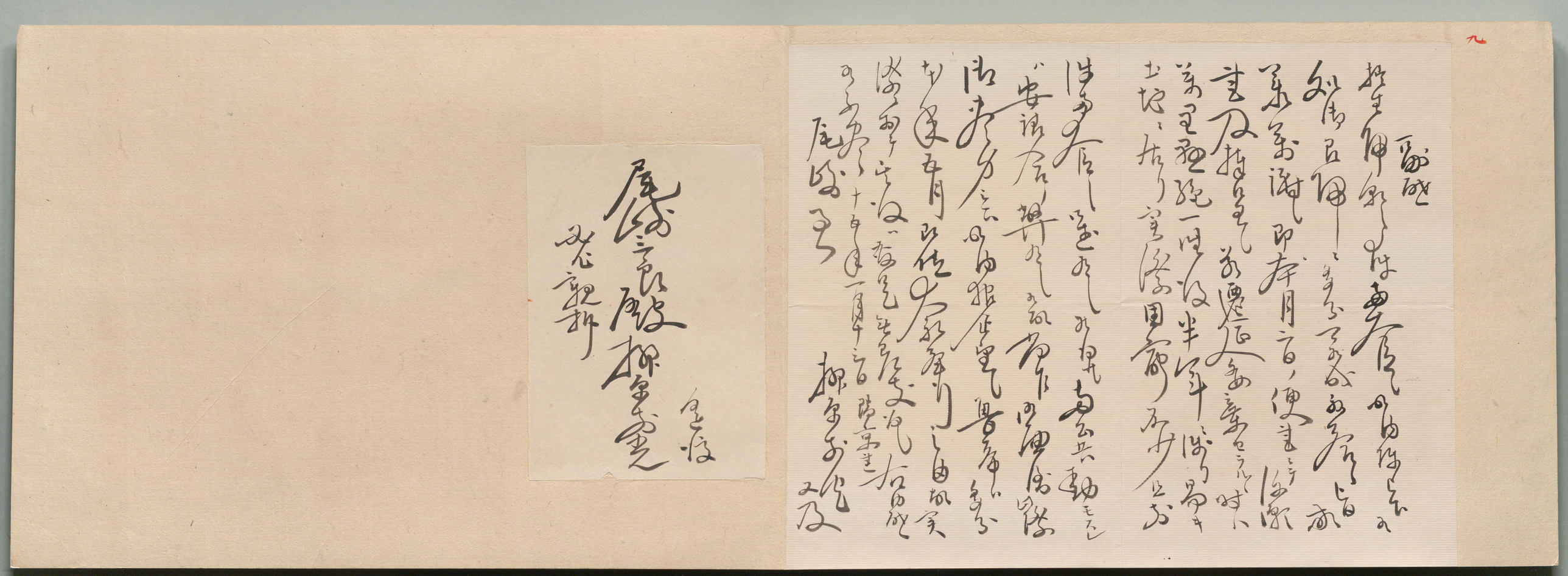
逐一の事例を挙げ、○帝室改革に関する
岩倉氏
説、中古の有様より説き、由基其西の説に
法律制度目的の要旨のみは
後今八年帝律発布の時四月
定ノ年と為ス決定セレバ又即位
故ノ決定セレ為ス代中動カ中動カ
考察異同より其注意を要ス
且帝位の定るも民と利の争ノ
解ハ十分防禦セザカラス我帝室ハ
既に一系万世の義
改革ハ民と争ノ解ノ義防シテ民ノ君ノ義
改革ハ未務メテ民と争ノ解ノ義防シテ民ノ君ノ義
民ノ見ル偏ノ如キ以路ノ取ラサレバ忌危シ
上に出テ此状組也如何事中道に
具状改革ノ民に似ス怪を陳ス
スル者と以タリ

後今八摂家公卿ハ元皆帝室ニ属セリ今帝室ノ基ノ
再キ之と偕楽セシム故ニ之と世ノ者ハ皆帝恩ノ仰ノ所ナリ

大子妃の納さ在人民大に怪の思レ程の表レ事実雑説ス帝リテ之リ見レト又禁説
友法テ曰ノ禁説の事と其雑説の出レ直ちに便セト帝人民実の所
クルノ説レ之ノ許サス特リセシと果シテ雑説と好シ中途より帰レ怪
タリ又年年摂家廃止ノ失シ七百人ノ教ヤ民ノ禁説ノ
悲ム為ンと中古内大臣邪ノ説ノ以テ禁説に入ル法ヒシノ以テ帝ニ
スルの新教ノ禁ス故ニ民帝室の義を
アレハ宰臣と用ス是今帝と称ニ此ス唐代仁君単出し
敗セリ内ニシテハ匂加利波帝室別ニ
独四の他の民と除し兵力弱きを大ノ列と在ルの保ツ他ナレ帝室人民
密附シテ法方力ヲ教ス和ミシ彼者秋の忌ノ晋ノ神文ノ以テ忌ノ
ルの如シ故ニ帝位の合有ス定ル帝室の富強ナラレハ
帝ナレハ民と利の争ノ如キ所ノ遂ケ土地未開墾
ヨリ人ノ之ノ衆と偕シ伊の年百年後ルノ許シ以テ恩ノ示シ山林成

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2



国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

明治廿八年五月造之

尾崎家蔵

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 111-2